

サービック労組が、再び「JS労に関する」情報を発行

前回同様に、今回も事実を歪曲し、JS労への誹謗中傷!

サービック労組は、再び「JS労に関する」情報を発行しました。前は、「JS労（JRサービック労働組合）にご注意を!!」と題して、3月8日付けの発行です。今回は、「JS労（JRサービック労働組合）について」と題して、3月20日付けの発行です。

情報は、「JS労は、サービックで働く人のためでなく、JR東海労のために結成した」などと、事実を歪曲し、JS労に対して誹謗中傷を行っています。

「二重加盟、組合員非公開とする事で、プロパーを利用し、JR東海会社とJR東海労との代理戦争を”私達の会社”で行っている」と表現しています。「プロパーを利用」「代理戦争」といった表現を使い、「行っている」と断定した表現をしています。これらの表現は、「批判」の域を越えて「誹謗中傷」になります。

「みんなが安心して働ける会社にするため」JS労を結成した。

JS労は、昨年8月18日に結成しました。結成時の役員は、サービック労組の情報にあるように、JR東海からの出向者で、組合の所属はJR東海労です。

JS労を結成したのは、一言で言えば「(サービックを) みんなが安心して働ける会社にするため」です。そして、サービック労組の現状をみれば、「(サービックを) みんなが安心して働ける会社にすること」を、サービック労組に託すことが出来ないからです。

サービック労組の事実を歪曲した情報（「JS労はJR東海労のために作った」とは、決定的に違うのは言うまでもありません。

JS労結成時に発行したジャストニュース創刊号（2023年8月18日発行）に、「労使対等の立場に立ち、現場で働く従業員に寄り添う決意です」「サービックの労働条件は決して良いとは言えないなか、極めてデキの悪い天下り管理者もあり、多くの従業員はキツイ労働と低賃金に苦しめられている。したがって離職者が多く、年中募集をかけている。こんなサービックに風穴を開けるためにJRサービック労働組合は誕生した」と、JS労を結成し、サービックの現状（職場）を変えていく決意を表しています。

サービック労組の作為的に不安を煽る姑息なやり方

情報では、「何も知らずJS労に加入してしまった方」として、「これからの長い会社人生を考えて欲しい」「その組合は大丈夫ですか?」「定年まで安心して働けますか?」「その組合が無くなった時どうしますか?」「誰が助けてくれますか?」と作為的に不安を煽っています。それでは、サービック労組は「長い会社人生を定年まで安心して働けます。困ったときはサービック労組が助けます」と、自信を持って組合員に言えますか?

また、「いつでもサービック労組役員にご相談下さい。お話を伺います」と、相談専用アドレスを作っていますが、普段においてこの対応をしたらどうですか?

メールアドレス・jsrou@yahoo.ne.jp